

デジタル化対応システム導入概要及び令和6年度導入（案）について

1 令和5年度導入概要

(1) 「書かない窓口」の導入【住民課】

基本方針1 住民の利便性向上のための環境整備・推進

- 施策1-1 行政手続のオンライン化
- 施策1-2 マイナンバーカードの普及促進・利活用
- 施策1-3 キャッシュレス決済の拡充

基本方針3 DX推進のための環境整備

施策6-3 デジタル機器の充実



書かない窓口システム

- ・申請書の記入が不要
- ・氏名や住所など同じことを何度も記入しなくてよい
- ・町役場滞在時間の短縮

スマート申請システム

- ・申請内容をスマートフォンで事前に作成
- ・来庁時に二次元コードの読み取りにより作成データ反映

窓口案内システム

- ・業務別の待ち人数や受付窓口番号がすぐにわかる
- ・順番待ちのイライラの軽減

デジタルサイネージ(電子掲示板)

- ・待ち時間を利用して旬な町のイベント情報などを発信

スマートレジ

- ・クレジットカードや電子マネー決済による利便性向上
- ・自動釣銭機により入出金のミス防止
- ・集計業務の効率化

業務別お待ち人数			
業務内容	待ち人数	受付番号	待ち時間
戸籍届本・住民票・印鑑証明書	0	1012	1
転入・転居・転出などの移動届	0	2008	2
戸籍届出(出生届・婚姻届ほか)	0	3002	4
マイナンバー	1	4008	3
国民健康保険・国民年金	0	5014	5
介護	0	6006	6



(2) 統合型GISの整備及びモバイル通報システム導入【デジタル推進室】

基本方針3 DX推進のための環境整備

施策5-3 GISの利活用及び公開

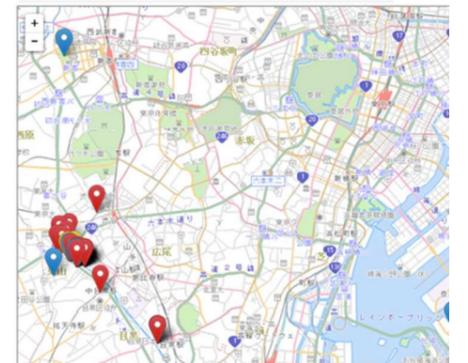
統合型GISの整備

- ・来庁不要で誰でも自由に情報収集が可能
- ・ごみステーションや学校などを掲載することで、転入者や移住希望者に対して情報発信ができる
- ・職員が施設等の内部情報を共有、検索しやすく、業務効率化が図られる



モバイル通報システム

- ・町内の道路の破損や道路照明灯の不点灯などをスマートフォンなどから町役場へ通報できる
- ・写真添付により通報箇所の位置や状況がわかりやすい
- ・通報箇所の可視化により、多くの町民と情報共有が可能



(3) 観光DX導入【観光課】

基本方針3 DX推進のための環境整備

施策5-2 政策立案へのデータ活用

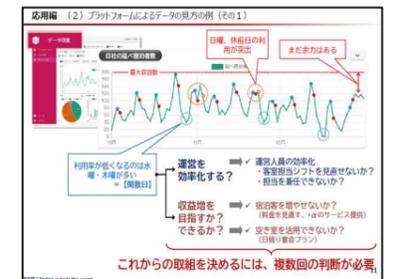
ソーシャルリスニング

- ・SNSやブログ、レビューサイトなどの情報を分析してビジネスに反映させるマーケティング手法
- ・時代の流れに沿った情報分析により、効果的な施策の立案に活用できる
- ・デジタルコミュニケーション戦略(口コミ、広告など)を効果的に実施できる



宿泊データ分析システム

- ・宿泊施設が保有する観光客データを収集分析することで、どのような観光客が来ているかを把握
- ・旅行者の消費拡大や再来訪促進を図り、観光産業の収益や生産性向上につなげる
- ・事業者間や地域間のデータ連携の強化により、町内広域で収益の最大化を図る



2 令和6年度導入（案）

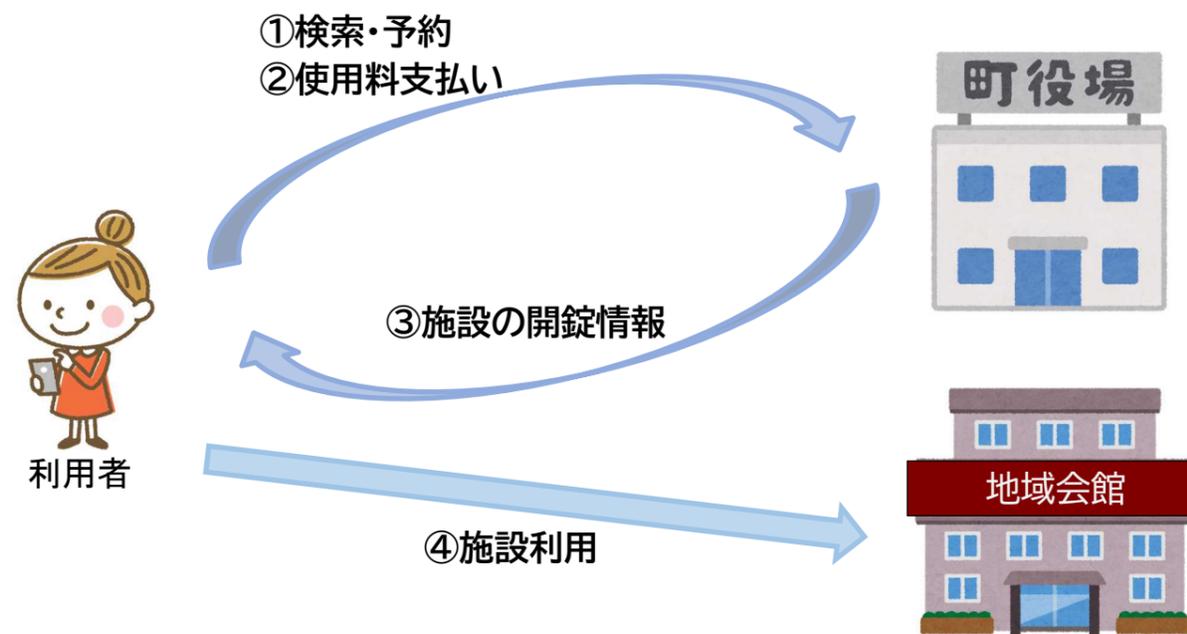
(1) 施設予約システム導入【社会福祉課】

基本方針1 住民の利便性向上のための環境整備・推進

- 施策1-1 行政手続のオンライン化
- 施策1-3 キャッシュレス決済の拡充

【事業概要】

地域福祉会館の予約や利用料の支払いについて、管理人不在の会館利用者は役場への来庁が必須となっていることが課題となっている。そこで、施設予約や利用料の支払いをスマートフォン等のオンライン上で行い、利用者へ施設の開錠に関する情報が送られることで、会館利用者の利便性の向上を目指し導入するもの。



【概算費用】

- 導入費 12,500 千円
- ランニング経費 1,800 千円/年 ※別途、決済手数料が必要

【期待される効果】

- ・スマートフォン等でいつでもどこからでも予約可能
- ・オンライン決済による利便性の向上
- ・オンライン予約により幅広い年齢層の利用
- ・施設予約をシステム管理できることでの業務効率化
- ・他の公共施設の予約等への拡張が期待できる

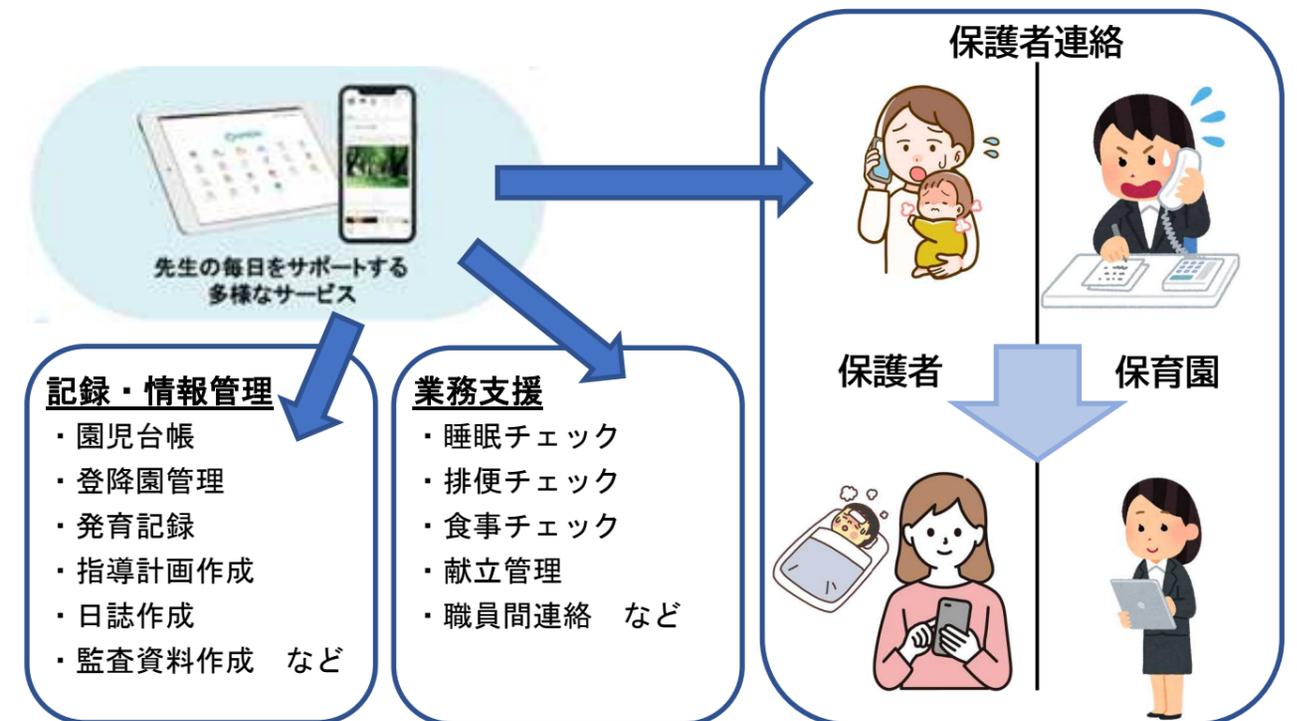
(2) 保育園ICT化【こども支援課】

基本方針1 住民の利便性向上のための環境整備・推進

施策2-2 地域社会のデジタル化の推進

【事業概要】

町立保育園では保護者からの出欠席の連絡など電話と紙のみの対応や職員が手書きの日誌などを作成することによる負担が大きいことが課題となっている。そこで、タブレットを利用して保護者との情報伝達や日誌等の電子化を行い、保護者との円滑なコミュニケーションや職員の業務効率化を図り、保育の質の向上を目指し導入するもの。



【概算費用】

- 導入費 11,000 千円
- ランニング経費 2,200 千円/年

【期待される効果】

- ・保護者はアプリを利用することで時間に縛られることなく連絡が可能
- ・お便り等をアプリで一斉配信することで迅速化を図る
- ・日誌等の記録の業務効率化
- ・業務効率化に伴い、職員は子どもと向き合う時間が増加